

取扱説明書

保管用



LED ペンダント (フランプタイプ)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのし方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	適合ランプ	消費電力	適合電圧
PD-2625	□金：GH76p-5 LEDライトエンジン フラット形（東芝製） LEC3またはLEC4またはLECF×1灯	12.4～24.4W	AC100V (±6%)

※調光の場合は、調光ランプをご使用ください。

この取扱説明書のマークについて

- ⚠ **警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
 ⚠ **注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
 ⓪ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
 ⊘ このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

警告

- ⓪ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。
- ⓪ LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意下さい。
- ⓪ 次のような場所には取付けないでください。（右図）
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。
○補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）
○凸凹のある面には取付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。
○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。
- ⓪ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下によるケガの原因となります。
- ⓪ ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。
- ⓪ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙・発火やLED光源寿命低下の原因となります。
- ⓪ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。
- ⓪ 濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。






注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による）
周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

- ⓪ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
★定格電圧（100V）以外で使用した場合、器具寿命が短くなる事があります。
- ⓪ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火、LEDユニット寿命短縮の原因となります。

⚠ 注意 (前項続き)

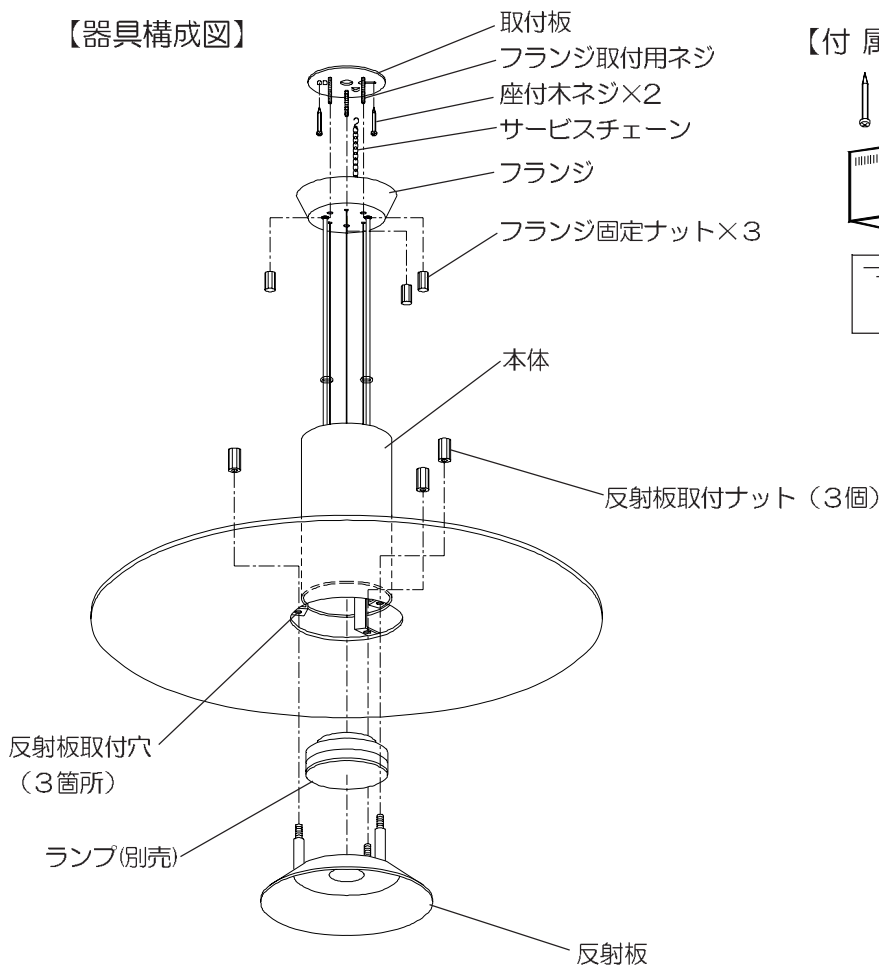
- ⊘ 調光器 (ライトコントロール) と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。(次項を参照して下さい。)
★不良点灯や調光器、照明器具の故障また火災の原因となります。
- ⊘  温度の高くなるもの (ガスレンジやエアコンの吹き出し口など) の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。
- ⊘ カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。
- ⊘  殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

- ⊘  点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。
- ※同品名商品のLED光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承下さい。
- ※照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承下さい。
- ※他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承下さい。




各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



【付属品】

-  座付き木ネジ 2本
-  取扱説明書 (本書) 1枚
-  保証とアフターサービスについて 1枚 (別紙)

【適合調光器】

調光器	調光器品番	1回路当たりの最大接続数	インターフェース
コントロールクスPD (東芝)	DF-70170-PD	45台 ※1	不要
グラフィックアイ 3000シリーズ (LUTRON社)	GRX-310*-T-JA-	33台 ※2	GRX-PWM ※3
グラフィックアイ QSシリーズ (LUTRON社)	QSGR-*PJA-		

※1 調光器 1 台に対して ※2 インターフェース 1 台に対して ※3 インターフェースは 1 ゾーンに 1 台を必ず接続して下さい。

取り付け場所の確認

- ⚠ **警告** 器具取り付けは、重量の絶えるところに説明書に従い行って下さい。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災・感電事故の原因となる事があります。

取り付け方

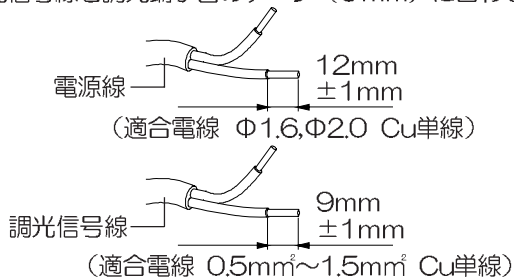
⚠ 注意 ❶必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告

- ❶ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
- ★ 取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。
- ❷ 端子に差込むケーブルは必ずVVFφ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真直ぐな線を使用してください。
- ★ 指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は接触不良による火災・感電事故の原因となることがあります。

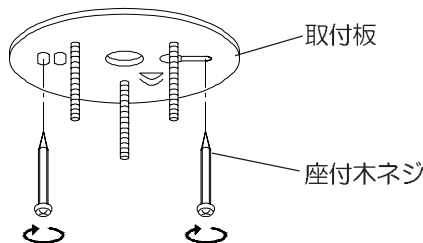
1. 電源線の被覆を剥きます。

電源線を電源用端子台のゲージ（12mm）に合わせて剥きます。
※調光信号線を調光端子台のゲージ（9mm）に合わせて剥きます。



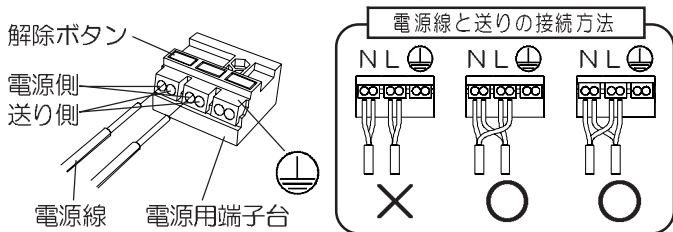
2. 取り付け板を取り付けます。

フランジ固定ナットを緩め、取り付け板を外し付属の座付き木ネジ（2本）でしっかりと固定します。



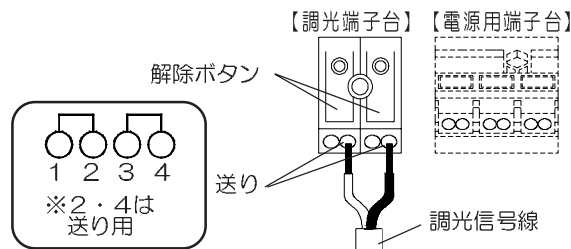
3. 電源線を接続します。

サービスチェーンで取付板とフランジを繋いでから、電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、ドライバーの先で解除ボタンを真っ直ぐ押しとはずれます。



【調光接続の場合】

調光信号線を調光端子台の奥まで差し込んでください。
※調光端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじった状態で差し込まないでください。
※器具本体に信号線を接続しないでください。感電、火災の原因となります。

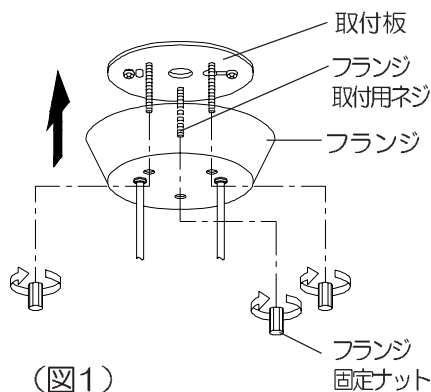


⚠ 警告

- ❶ 電源端子に差し込むケーブルは、必ずWFφ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真直ぐな線を使用してください。
- ★ 指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。
- ❷ 調光時には、D種（第3種）接地工事を行ってください。
- ★ アースが不完全な場合は、火災や感電事故の原因となります。

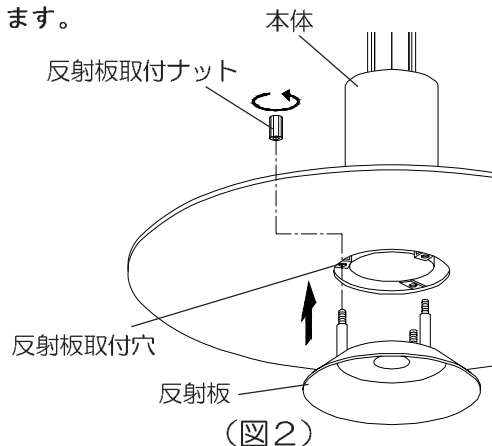
4. フランジをセットします。（図1）

フランジをフランジ取付用ネジに合わせてはめ込み、フランジ固定ナットで固定します。



5. ランプをセットします。（図2）

反射板を取り外し、ランプをソケットに挿入して、時計回りにカチッと節度のあるところまで回してください。



6. 反射板を取り付けます。（図2）

本体の反射板取付穴（3箇所）に反射板上部のネジ（3本）を合わせ入れ、反射板取付ナットで固定します。

吊り下げ高さの調整

⚠ 注意 ❶必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

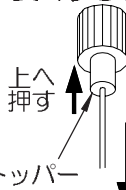
ワイヤーストッパーを調節してお好みの高さに設定します。
最大高=1.2m（出荷時のもの）～最小高=0.5mの範囲内で調節できます。

ーワイヤーストッパーの調節の仕方ー
短くする場合



- ワイヤーストッパーの中にワイヤー線をまっすぐに押し込みます。
- ※ ワイヤーストッパーの先端部を片手で上に押しながらワイヤー部を押し込むと楽におこなえます。

長くする場合



- ① ワイヤーストッパーの先端部を片手で上に押ながらワイヤー線をまっすぐ下へ引き出します。
- ② 長さが決まったらストッパー先端部を放します。（ワイヤー線はそこで固定されます。）

※調節したワイヤー線の長さに合わせ電源コードの長さを調節します。たるんだ分の電源コードはフランジ内部に押し込みます。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて



注意



必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- 1年に1回はお手入れを行い異常が無いか点検をして下さい。
また3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼して下さい。
- ★点検を行わずに長時間使用し続けると、まれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。
- こまめに清掃を：照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

注意

- お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

- 光源ユニットは乱暴に扱わないでください。
★光源ユニットの故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。
- ★カバーの破損、落下の原因となります。

- スイッチを切った直後の光源ユニットは熱くなっています。
絶対に素手で触らないでください。
★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。



ランプの交換

■ランプ使用上のご注意

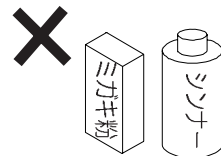
- LED照明器具の光源寿命（※）は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

1. スイッチを切ります。
2. ランプを交換します。
「●取り付け方」の5、6をご参照ください。

- △注意 ●LEDは高温になりますので、点灯中・消灯直後は触れないでください。
★火傷の原因となります。
- 適合ランプ以外は、取り付けできません。必ず器具に表示されているLEDをご使用ください。
- ★異常過熱などによる事故・故障の原因となります。

お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。